

平成30年度 事業報告

第3期 旭区地域福祉保健計画の「推進の柱」に基づき取り組みました。

推進の柱 1 地域の福祉力アップ

推進の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

推進の柱 3 地域の取組で元気力アップ

推進の柱 1 「地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤をつくる」ために、各地区社協に情報提供や助成等の活動支援を行いました。

また、「交流・居場所」、「生活支援」、「見守り・つながり」の3つの取組を広げました。

推進の柱 2 「支援を必要とする人が的確に支援へつながる仕組みをつくる」ことを目標に、「見守り体制の充実、孤立予防」を進めました。

推進の柱 3 「幅広い市民参加から地域福祉保健の取組が広がる仕掛けをつくる」ことに向けて、多岐にわたるボランティア事業を関係機関と連携しながら充実、強化しました。

インフォメーションの詳細については、旭区社協のホームページをご覧ください。 [旭区社協](#)

平成30年度 共同募金報告

平成30年度共同募金寄付金総額
20,357,755円

赤い羽根募金………14,264,710円
年末たすけあい募金…6,093,045円

皆様から多くの募金をいただきました。
温かいご支援どうもありがとうございました。

平成30年度に集まった募金は令和元年度に使われます。

赤い羽根募金のうち5,505,464円が、年末たすけあい募金6,093,045円全額が旭区社会福祉協議会の事業費として使われます。今年も皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。(募金は任意です。)

善意銀行に寄付いただいた方々

平成31年1月1日～令和元年5月31日

次の皆さまから善意銀行へご寄付いただきました。ありがとうございました。

(金品寄付) 荻窪 邦昭／内田 忠夫／鶴ヶ峰自治会資源回収団

旭区女性団体連絡協議会／たかはし書道教室

アイメイトあさひ／神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部

横浜旭郵趣会／匿名1件

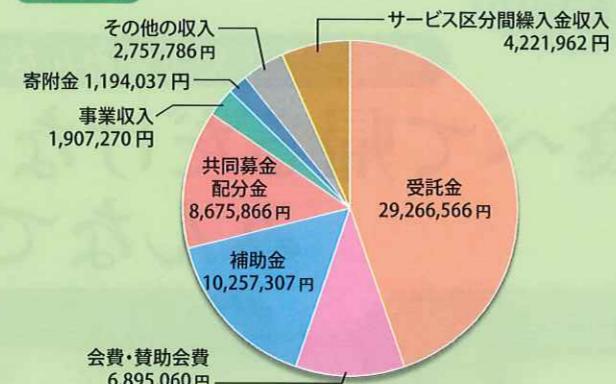
善意銀行

善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金品をお預かりし、必要なところ、または希望された区内福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆さまの善意を広げていく事業のことです。

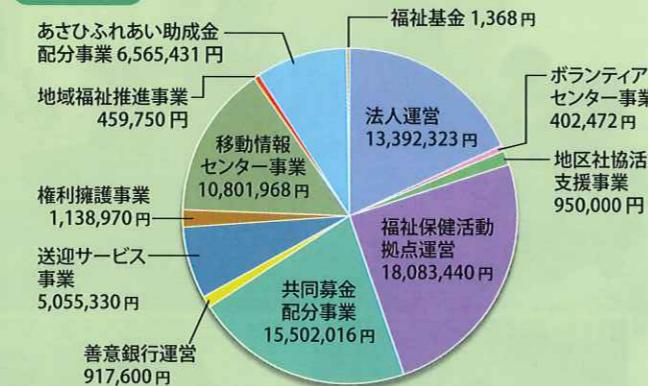
平成30年度決算報告

当期収入合計	65,175,854円
当期支出合計	73,270,668円
前期末支払資金残高	24,758,154円
当期末支払資金残高	16,663,340円

収入内訳



支出内訳



旭区社協だより No. 101

令和元年7月15日発行

あさひ 「この町が好き」と言えるまちづくり

いきいき宣言

<http://www.palletasahi.jp/>

この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています。

旭区社協

地域共生社会に向けて

旭区社協は地域共生社会を目指しています。

地域共生社会を目指して

共に
支えられ
生きていく

横浜市旭区社会福祉協議会

旭区社会福祉協議会では、「地域共生社会」の理念を広く皆さんと共有できるように、スローガンとロゴマークを作りました。「地域共生社会」の理念とは「**共に支えられ 生きていく**」ことです。支える側と受ける側に分かれず、地域の皆さんのが役割をもち、支えあいながら自分らしく活躍できる社会を作っていくたいという思いから、ロゴマークには朝日(旭)がのぼり、人と人とのつながる様子をイメージしました。地域の皆さんと共に旭区ならではの地域共生社会を目指していきます。



今回のあさひいき宣言では、皆さんの身近な地域で、「地域共生社会」の実現に向けてはじまつた、3つの活動を紹介します。

詳しくは中面へ



私たちにできることは? ~一人ひとりの「やってみる」でつながる地域共生社会~



地域で
広がる
支えあい

希望が丘東地区と川井地区に、庭木の剪定や草取り、話し相手、電球の取替えなど、ちょっとしたお手伝いをするグループが立ち上がりました。地区社会福祉協議会(以下、地区社協)が応援し、ボランティアとして活動するのも、ボランティアの調整をするのも地域の人です。活動を通して、支えあいや見守りが広がります。

希望が丘東地区●「きぼうの手」

困りごと解決をきっかけに
地域の輪を広げたい



設立総会には高齢者から子育て中のお母さんまでたくさんの人が参加していました。

会長と事務局長にインタビュー



椎名会長

地域にひとり暮らし高齢者が増えていることや、地域の方からも「こんな活動があったらいいね」という声が寄せられたことが団体の立ち上げのきっかけになりました。これから来る依頼は断らずにきっちりとやっていくことを心掛けたいです。



安部事務局長

ボランティアと利用者が同じ町内会で活動することにより、顔が見え、見守りにつながります。気軽に声を掛け合える地域にしたいと考えます。活動をきっかけに多世代が関わり、地域の輪が広がるような活動を目指します。

川井地区●「ちょこっとボランティアかわい」

ちょっとした手助けで広がるあんしん

設立総会後の懇親会にお邪魔しました。懇親会では、設立に対する思いや地域の困りごとの共有を行い、ボランティアどうしのつながりが深まりました。「地域共生社会」に向けた熱意で盛り上がり、今後の活動に注目です。



ボランティアへの期待を語る
阿部副会長

地区で
支えあうこと
で
顔が見えて
見守りになるね



上記二つの団体の活動内容と利用料について、詳しくは旭区社会福祉協議会にお問い合わせください。

地域
の中の
みんなの
居場所

地域で飲食店を営んでいた後藤さんご夫婦。子ども食堂をヒントに、自宅の空きスペースを活用して、みんなの居場所になるようにと思いを込めて「ごとうさんち食堂」をオープンしました。

希望が丘東地区●みんなの居場所「ごとうさんち食堂」

食べて帰るだけなら食堂と同じ…
みんなで楽しさを共有したい



今回は煮込みハンバーグ。やわらかくてとってもジューシー!
ついつい後藤さんに料理の秘訣を聞いてしまいます。



バルーンアートは
子どもたちに大人気



「地元の野菜も
売ってるよ」
玄関先でも
にぎやかです。

「みんなの居場所」という名前の通り、参加している人たちが、ご飯を食べるだけではなく、それぞれが子どもと遊んだり、配膳などのお手伝いをして、「みんなで作る居場所」になっていました。

後藤さんご夫婦は、参加者が顔見知りになり、楽しい時間を過ごしてもらえる居場所にしたいと今後の抱負を語ってくださいました。

このように、活動は違っていても、「共に支えられ 生きていく」という地域共生の理念はつながっているのではないでしょうか。一人ひとりが役割をもってお手伝いをすること等をきっかけに活動の範囲を超えてつながりあうことができるのです。これから、どのような活動になっていくのか、楽しみです。

旭区には、今回紹介したものだけでなく、さまざまな支えあい活動が行われています。旭区・旭区社協・区内13の地域ケアプラザでは、活動団体の情報共有、新たに活動を始めた方のヒントになるよう、フォーラムを開催します。ぜひご参加ください。

[日時]令和元年11月6日(水) 13:30~16:00
[会場]旭公会堂
[テーマ]地域で活き活きと安心して
暮らし続けるために

